

2016年3月7日
京成電鉄株式会社

「人と環境に優しい鉄道」を目指して

「3032編成（6両）」 3月7日（月）営業運転開始

京成電鉄（本社：千葉県市川市、社長：三枝 紀生）では、新造車両である3032編成（6両）の営業運転を2016年3月7日より開始いたしました。なお、今年度はすでに、3031編成（6両）が2月15日より営業運転を開始しています。

この車両は「人と環境に優しい鉄道」をコンセプトに、2003年から導入している3000形車両です。

車両の軽量化等による使用電力の削減、冷房装置・制御装置・補助電源装置にオゾン層を破壊しない冷媒の採用、全車両の車内照明にLEDの採用等、環境保全に配慮するとともに、2010年よりバリアフリーに配慮し、LCD（液晶）の車内案内表示器を採用しています。今年度導入する編成では、お客様にとってより見やすい案内表示を目指して、車内案内表示器の画面サイズを従来の15インチから17インチに拡大しました（写真左上）。



3月7日（月）より営業運転を開始した3032編成